

平成30年度の活動記録(5月)



第3回 (5月8日)

◎屋外昼食会

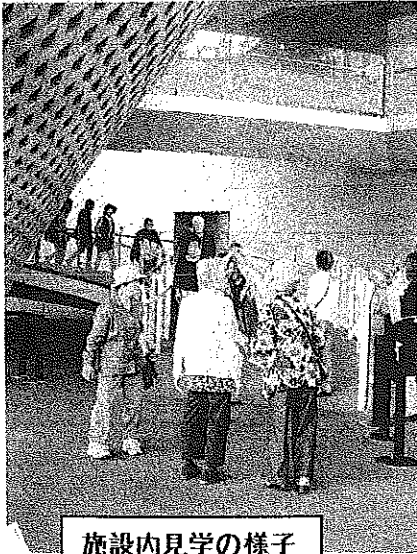
富士山世界遺産センターを見学しました

お食事は新東名高速 静岡サービスエリアにて

参加者数

対象者: 25名

協力員: 9名



施設内見学の様子

●お天気はチョット残念 でも みんなで楽しい昼食を

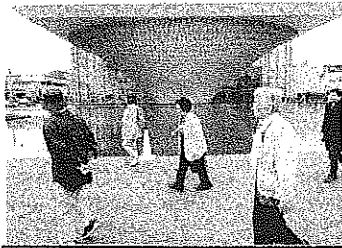
昨日からの雨が朝方にやっとあがり、お出かけ日和とは言えないまでも今日はお肌に優しい?曇り空、みんなでバスに乗って恒例の屋外昼食会へ出かけました。

目的地は、富士宮市に在る「富士山世界遺産センター」です。ここでは富士山にまつわる歴史、文化、自然などを鑑賞したり体験したりしてお勉強しましたね。

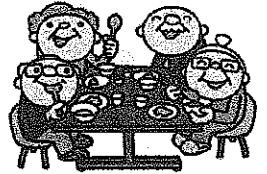
見学後のランチは、新東名高速下り線の静岡サービスエリアにて皆さんそれぞれ好きなものを賞味されました。



静岡SAにて



変わった形の建物でした



第4回 (5月21日) ◎風鈴の飾り台を作りました

ナカナカ良い出来栄えでした

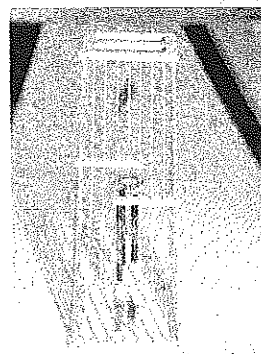
参加者数

対象者: 28名

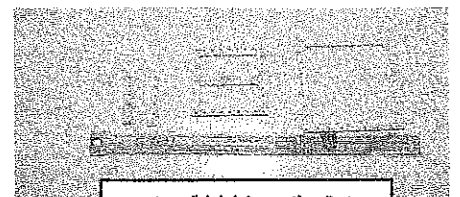
協力員: 16名

●今日は本年度の作品作り第1号として竹ひごを使って風鈴の飾り台(スタンド)をみんなで「頭」と「手先」を駆使して(「口先」も使ったかな?)作りました。

●手が感覚器官であることを忘れてしまいがちですが、私たちは手から非常の多くの情報を得ることができます。だからこそ手先の感覚を多様に使うトレーニングは、脳を活性化させると言えますし、ボケ防止効果も期待できます。



これがお手本(完成予定品)



これが材料一式です



先ずは説明を聞いて



ここを・こうして・こうなって

製作開始



なかなか難しかったですね

◎本日のおやつ



蒸しまんじゅう

● 聞いたことありますか？

梅雨時期になると「いわし」に「梅雨/入梅」などの言葉が付いて売られていることがあります。毎年見かけるよ！という人や、なにそれ？見たことなよ！という人がいると思いますが、梅雨に入る頃から「梅雨いわし」「入梅いわし」と呼ばれるイワシがお店に並びます。

これは、梅雨時期になると、脂がのって美味しくなる季節というところから、季語の「梅雨」を付けられた旬の鰯（いわし）という意味で「梅雨いわし」と呼ばれています。

● 6月のイワシがおすすめ？

梅雨時期の6月～7月頃、関東～中部では、各種イワシが旬を迎えます。丁度この梅雨時期は、北からの親潮と南からの黒潮が千葉県沖でぶつかって、餌が豊富で住みやすい環境が揃うことで、1年でもっとも脂がのった、サイズの大きいイワシに成長するということです。

● 梅雨・入梅いわしはニックネーム？

「梅雨〇〇」「〇〇梅雨」という季語を付けた呼び方は、昔から定着していたそうです。例えば、「梅雨葵」「菜種梅雨」「たけのこ梅雨」など、この時期に採れる花や食べ物と合わせて使っていますね。

と言うことで、今回ご紹介している「鰯・いわし」も同様に、梅雨時期が旬の魚なので、「梅雨いわし」「入梅いわし」と呼ばれているようです。

● 他にも

では、「いわし」の他にも「梅雨」が付く魚が有るか調べてみました。

「梅雨イサキ」・「梅雨アナゴ」 やっぱり「梅雨」の文字をつけて呼ばれる魚です。梅雨時期のイサキ・アナゴ もいわし同様梅雨時期が食べごろ、旬の時期で、「梅雨」の文字をつけて呼ばれるほどの人気があります。

暮色濃く鰯焼く香の豊なる 山口誓子

年寄りの冷や水・・・とは隅田川の水のこと？

福岡区 区長 増田知英

「まだまだ若い者には負けられん」とお年寄りが無理をすることを、「年寄りの冷や水」などと言いますね。

この言葉からはお年寄りがやせ我慢をして冷や水を浴びる姿が想像できませんが、実はそうではありません。

「冷や水」とは隅田川の水のことで、江戸時代のこと、この川の水を「水売り」が杉の葉を立てた桶を担いで「冷や水やア、冷や水やア」と言いながら売り歩いていました。当時の江戸は、井戸を掘っても塩水が出てきたりして、水には恵まれていませんでした。

どんぶり一杯が一文のこの水、よく売れたそうです。

しかしながらこの水は町中の川で汲んだ水ですので、生活排水なども混じっていて実際は飲用水には適さなかったようで、お年寄りがこれを飲んで腹痛を起こすことも多かったようです。

「冷や水を飲んで息子に叱られる」

などと川柳にも詠われたりしまして、次第に年甲斐もなく若者の真似をしたがるお年寄りの行動を「年寄りの冷や水」と呼ぶようになりました。

「生涯、青春」の皆様ですが、くれぐれも「年寄りの冷や水」などと言われませんよう ご用心・ご用心。



なつかし記・さがら 子供たちのいる風景

タンポポ切り

摘んだばかりのタンポポは弱く、すぐに切れてしまいます。そこで負けないよう各々工夫しました。タンポポを塩漬けにしたり靴の中に入れて踏んだりと色々な方法が行われ、どれも茎はフニャフニャになりますが、しごかれて細いムチのようになり強くなりました。



画 澤田 輪 (たかし) 氏

皆様のご意見や思い出話をお待ちしております

相良今昔物語

澤田 輪 (たかし)

(先月号からの続き)

これより河岸通りへ……。

河岸通り。その名の通り相良港の出船入船の荷物が、この通りを、新町、前浜、市場へと出入りした処。

湊橋を昭和十年に開通する前、藤枝より引かれた鉄道が、相良駅として完成、その名も藤相線と命名され、いよいよ相良町の表玄関として姿が整い、駅前通りが整備され、町への入口を、当初直線で市場に抜く予定で発表されました。それを聞いた河岸組の人々は大あわて。本通りが市場へ行けば、当然橋も切られるので、町内大同団結して、河岸通りの通過を役場に願い出しました。役場では、道が狭いため拡幅すれば考えましようという事になり、何回となく相談のうえ、大きな犠牲をはらって、稲葉屋さん、五魚屋さんに移動してもらって今の大通りができ、当時としては眼を見張るコンクリート永久橋が完成したわけです。

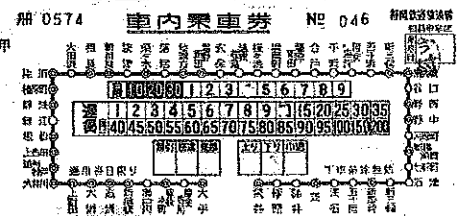
大和神社は、昔は南向きで、坂部商店横に出る道路が不便なため、植田自転車店横を現状のように道を開け、東向きに移動して門を付け変えたそうです(原文のまま)

相良今昔物語は今回をもって終了となります。長い間ご覧いただきありがとうございます

※ 藤相線→駿遠線

1911(明治44)年に設立された「藤相鉄道株式会社」でありましたが、1918(大正7)年川崎~相良間が開業し、名実ともに「藤相鉄道」となりました。

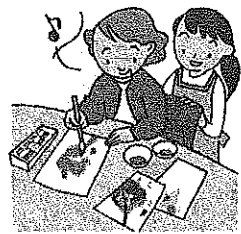
その後 藤相線は西へ延長され、同時代に袋井からスタートした「中遠鉄道・中遠線」と戦後の昭和23年に結合し、営業距離60.7kmという巨大軽便鉄道「駿遠線」が形作られました。



藤枝(大手)から袋井までつながっている切符(乗車券)

これからの いきいき予定

- 6月18日：交通安全教室
- 7月 2日：七夕飾りをつくろう
- 7月23日：大きな声で歌おう



相・福 いきいきだより
笑顔がいっぱい!!
2018年6月4日号
(通算第51号)

発行 相良・福岡 生き生きクラブ
編集 相良・福岡 生き生きクラブ
いきいきボランティア協力員